



大和郡山市制 70 周年記念 市民主催事業への参加グループ募集

「大和郡山市制 70 周年記念 市民主催事業」とは、大和郡山市が市制 70 周年を迎える令和 6 年に、市制 70 周年を盛り上げていただくことを目的に、令和 6 年 4 月～ 12 月の間に記念イベントを自主的に開催する市民グループに対して、市がその活動費の一部を支援する仕組みです。今回、記念イベントを主催するグループを募集します。

募集期間 = 12 月 11 日 (月) ～令和 6 年 1 月 12 日 (金)

※募集要項・申請書は、市役所 4 階の企画政策課窓口および 1 階受付で配布。

ホームページからもダウンロード可。

募集グループ数 = 3 グループ以内

支援対象グループ・事業 = 市内在住・在勤・在学者を含む 2 人以上で構成されるグループが、市内で行う市制 70 周年にふさわしい公益性のある事業や活動

※営利活動・宗教活動・政治活動・選挙活動を目的とするグループや事業、暴力団などの統制下にあるグループなどは対象外です。国や地方公共団体、これらの外郭団体、独立行政法人、民間企業等から補助金などを受けている事業などは、原則対象外です。

支援対象経費 = 事業に直接必要な経費

※人件費、高価な物品購入費、事業活動に伴わない備品購入費などは対象外。

支援金額 = 1 事業あたり 50 万円以内

審査で必要額を決定し、申請は 1 グループにつき 1 事業まで

選考方法 = 申請書等による書類審査を通過したグループにプレゼンテーションをしてもらい、その審査内容に基づいて選考します

事業報告など = 事業終了後に報告書、収支決算書等を提出し、事業・活動実績を報告していただくほか、事業報告会にて発表いただきます

問合せ = 企画政策課 (内線 232・241)



市制 70 周年記念
第 12 回

水木十五堂賞 授賞式

第 12 回受賞者が
佐藤 光信さんに決まりました

江戸から明治にかけての浮世絵を蒐集し、浮世絵専門の美術館を運営する財団の設立に尽力するとともに、先駆的な浮世絵展を多数開催され、近年は名品を多数含むそのコレクションからユニークな鯉絵の特別展示が行われるなど、学術研究においても貢献されています。



市制 70 周年記念特別表彰

大和郡山市の文化の発展に貢献されたお二人を特別表彰します。
故石田 貞雄氏(金魚関連工芸品蒐集)・故大鎌 淳正氏(古銭関連蒐集)

授賞式・記念講演を
開催します **参加無料
要申込**

日時 令和 6 年 2 月 11 日 (日) 13 時 30 分～

場所 DMG MORI やまと郡山城ホール

- ・授賞式 (賞状・記念品・副賞の授与)
- ・受賞記念講演と浮世絵展示 (佐藤 光信さん)
- ・記念座談会 (予定)

佐藤 光信 (第 12 回水木十五堂賞受賞者)

神崎 宣武 (民俗学者)

西谷 大 (国立歴史民俗博物館長)

武田 佐知子 (大阪大学名誉教授)

上田 清 (大和郡山市長)



申込・問合せ

12 月 11 日 (月) から、住所・名前・電話番号・参加人数 (3 人まで) を電話・FAX・メールで水木十五堂賞運営協議会事務局 (企画政策課内) ・☎53-1160・☎53-1049・✉mizuki@city.yamatokoriyama.lg.jp) へ。または、市ホームページ (<https://www.city.yamatokoriyama.lg.jp/>) から※申込者には後日、参加券を郵送します。

水木十五堂(要太郎)とは？

大和郡山市の偉大な先人水木十五堂は、40 数年にわたり豆腐町に居を構え、奈良県尋常中学校 (現郡山高校) 教諭、奈良女子高等師範学校 (現奈良女子大学) の教授などを務める傍ら、大和の歴史や地誌の研究を進め、漢詩・和歌・俳句・茶道・演劇等を通じ、多くの文人や芸術家と交流し、幅広い分野で蒐集。いつしか「大和の水木か、水木の和か」と呼ばれ、大和を代表する研究者、文人としての地位を確立。1938 年逝去、享年 74。



水木要太郎
(1865～1938)

「収集家 100 年の軌跡
—水木コレクションの
すべて」

(国立歴史民俗博物館
展示図録)より